

「笑顔あふれるまち 飯南町」

いーなん



島根県立飯南高等学校



2019

8

No.176

地域の魅力を高校の魅力へ

ここで描く未来予想図

地域の魅力を高校の魅力へ



課題研究

②描く力

これまで得た知識や経験をもとに、自分や地域の未来を描く

生命地域学

自らの人生を主体的に切り拓く人物の育成



中山間地域研究センター実習活動発表

①関わる力

多様な資源(モノ・コト)に関心をもち、他者(ヒト)と協働する



建設業体験実習

③発信する力

地域・高校の魅力や課題、自らの考えや夢を発信する



赤名湿地探索



木材加工体験実習

地域の魅力を高校の魅力へ

学びの場は地域に
生命地域学は飯南町を学ぶの場として、さまざまな体験学習や課題解決型学習を行う飯南高校独自の教育プログラムです。自らの人生を主体的に切り拓くために必要な「関わる力」「描く力」「発信する力」の3つの力を身につけます。

なぜ地域なのでしょう。地域には、答えのない課題や魅力が溢れていて、生徒が自分や地域の未来を描くのにうってつけだからです。

飯南高校の竹内徹先生は「具体的な魅力(ヒト・モノ・コト)や課題に触れることで、具体的なアイデアが描け、行動や発信につながる」と話します。

1・2年生は、飯南病院での地域医療学習や中山間地域研究センター実習などを通して地域の魅力や課題に触れます。3年生になると1組では「課題研究」に取り組みます。自分や地域の未来予想図を自ら設定し、その実現に向けた具体的アイデアを描いて行動。その成果を最終的に生徒や教員、地域住民に対して発信します。およそ半年を費やすこの授業で先生の出番はごくわずか。未来予想図の設定やスケジュールの管理は手助けし

ますが、未来予想図を実現する道筋や手段を考えるのは生徒です。これが生徒の自発的な行動を促すことに繋がっています。

「いろいろな切り口があつて、それぞれに方法は違う。これには答えがないんです。だからこそ本人なりの答え(仮説)を見つけて行動(実験)してほしいです。これができる環境が生命地域学には溢れています」と竹内先生。

生命地域学に限らず、普段の授業から先生と生徒、生徒同士の会話がくみられ、人と協働しながら自分たちなりの答えにたどり着くという光景が日常的にあります。高校時代のこのような経験が、社会に出てから生きてく



笑いを交えながら授業を進める竹内徹先生

統廃合が目の前に
飯南高校の魅力は「少人数・習熟度別授業」。しかし、平成22年、この授業形式に暗雲が立ち込めます。原因は、平成23年以降の町内の中学校卒業生の急激な減少。1学年1学級になれば、教員の減少で、少人数・習熟度別授業や文系・理系の学習体制、部活動など教育活動の質を落としかねない事態に。さらに、町内の中学生全員が飯南高校に入学しても定員を満たせず、統廃合の可能性さえも懸念されました。

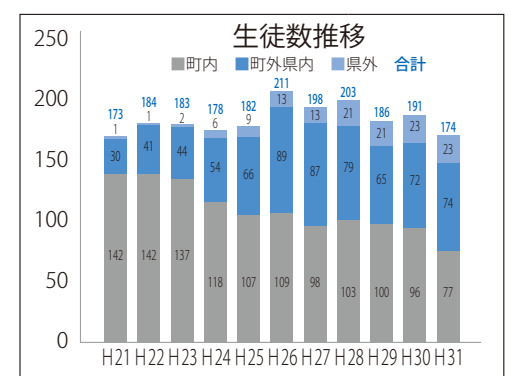
そこで、地域住民・教育関係者・有識者が立ち上がり「飯南高校キ拉里! ドリームアップ思援会議」を設立。1学年2学級の維持、統廃合の危機回避に向けて協議を始めました。特に町外・県外からの入学生確保に向けて、通学対策や寄宿舎(月根尾寮)対策、奨学金制度の拡充をはじめとした施策提言がまとめられ、平成23年、魅力化プロジェクトが本格的に始動。

時を同じくして、県教育委員会の「離島・中山間地域の高校魅力化活性化事業」が始まり、県・町の後押しもあり強力に魅力化が進められました。

プロジェクト開始以降、順調に町内外からの入学者が増加。今

未来を切り拓く力
生徒数増加の兆しが見えてきた頃、高校の新たな魅力を探ることとなる転機が訪れます。現代社会は、急激なグローバル化や高度情報化、ニーズの多様化などで変化が激しく予測困難。この時代を生き抜くために、飯南高校では、主体的に課題を見つけて、さまざまな人と協働しながら、答えのない課題にも粘り強く向かっていく力を生徒たちに身につけてほしいと、「自らの人生を主体的に切り拓く人物の育成」を目標に掲げました。平成26年、飯南高校の新たな魅力として生まれたのが「生命地域学」です。

では町外出身の生徒が全校生徒の半数を占めています。





飯南町を駆け巡った後はみんなで「乾杯」



人と関わり、文化に触れる(はやしこは公欠扱い)



地域の人との偶然の出会いで生まれた「パプリカジャム」



念願の舞台上で想いを叶えた生徒(神楽甲子園)



三島 啓太さん(飯南高校魅力化コーディネーター)

地域のひととの関わりが新たな価値を

生徒の率直な言葉を間近で聞いていたのは、飯南高校に魅力化コーディネーターとして勤務する三島啓太さん。三島さんにこれからの魅力化について聞きました。

飯南高校では、地域の人の力をお借りしながら、さまざまなことに取り組んでいて、その一つとして県内に親戚等のいない県外生を対象としたホストファミリー制度があります。ホストファミリー制度では、生徒が地域の人の協力で、普段の生活から「はやしこ」等の地域行事への参加

まで、飯南町ならではの魅力に触れる機会になっています。

でも町外の生徒には、飯南町という学びの場が魅力になっていきますが、魅力や刺激が少ないと感じている町内の生徒が、まだまだいることも事実です。町内の子たちにとって「近いから」ではなく、「飯南高校だから」と選ばれるように、より「層魅力」に磨きをかける時期にきています。

その鍵は、地域のひとと関わる機会をさらに増やすことにあり、と考えています。これまでも町内企業と飯南高校がコラボして「パプリカジャム」を開発・販売したり、神楽好きの生徒で結成

された神楽愛好会が、この夏「第9回高校生神楽甲子園」に出場したりしています。生徒の「やりたい」という想いが、地域の人の共感を得て勢いを増し、新たな価値を生み出しています。

このように生徒一人一人が小さな成功体験を得られる環境は生徒と学校にとっての魅力だと思いますし、この機会をもっと増やしていくことで飯南高校の魅力に、より「層磨き」がかかると思っています。

地域で育む学校に

生徒が地域のひとと協働し、新たな価値を生み出す。これは地域の人の力が無ければ、実現しなかったはず。地域の人の力(すなわち生徒や教員には無い価値観や多角的な視点は、生徒に幅広い選択肢を与えてくれるかけがえのないものです。

高校の魅力化は学校だけでは叶いません。地域の人の力を学校の魅力に繋げていくことで、飯南高校が、そして飯南町が魅力溢れる場所になるのではないのでしょうか。

飯南高校の魅力化に向けた挑戦はこれからも続く。

この地で育まれる力

「人数が少ないなあ。でもそこが良い」と思いました。都会の学校では、輝けない人はずっと輝けないけど、ここは人数が少ない分みんなに出番があって、みんなが輝けます。そして、それを助けてくれる先生がいます。

生命地域学や飯南町での生活は、自分の中の好奇心をくすぐってくれます。新しい出来事に出会って知りたくなる、日々その繰り返しです。一歩踏み出すことは勇気がいることだけど、行動すれば次やることは向こうから顔を出してくれます。もともと新しいことに興味を持つ性格ですが、ここに来てさらに、新しいことに挑戦してみようと思うようになりました。

あと、学校の中でも外でもあいさつができるようになりました。東京では、学校の生徒数が多すぎて先輩後輩も分からないし、他人にあいさつするなんてありませんでした。顔が分かるって僕からするとなんか好きです。

この学校に来て本当に良かったし、「最後は自分で決める」と言ってくれた親に感謝しています。残り高校生活で仲間との「熱い絆」を創っていきたいと思います。

佐藤利哉さん
飯南高校2年生
(東京都出身)

多様な個性の中で育まれる力

「人数が多くなったなあ。いろんな人がいるなあ」と思いました。高校に入って初めてクラス替えを経験したし、利哉くんもそうですけど、面白い人たちにたくさん出会えたことが新鮮でした。

正直はじめは他の高校を考えていたけど、先生の温かさでこの学校に決めました。とにかく先輩後輩が学年を超えて仲がいいですし、生徒と先生の距離も近いです。だからこそ一人ではできないことも、いろんな人と協力すればできてしまいます。そんな環境が飯南高校にはあるんだと思います。部活動や生徒会活動がいい例かも。団体での活動は人と喋ることばかり。飯南高校に来て、前よりしゃべれるようになったし、自分を出せるようになりました。そして人と協力して何かをやり遂げたときの達成感は何とも言えないです。

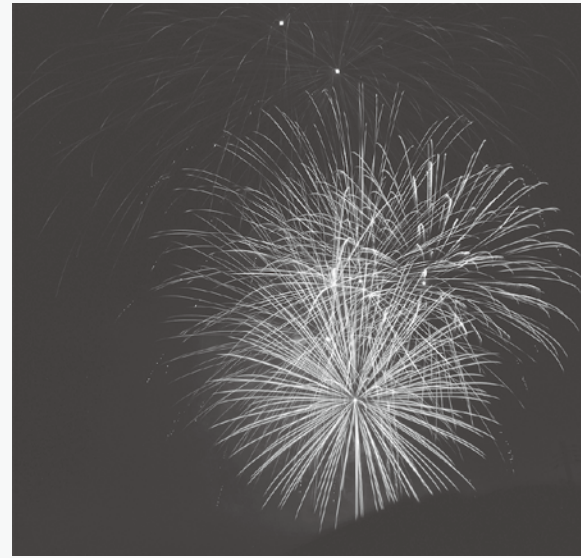
でも来てよかったと思う一方で、たまに物足りなさを感じることもあります。昔から飯南町で育ってきたから川や星がきれいなんて当たり前でしたし。気にしてない分、いろんなことを見逃しているんだと思います。だからこそ生命地域学で地域のいろんなものに触れる機会が大切だと思っています。

岡 夢乃さん
飯南高校2年生
(飯南町出身)

夏真っ盛り とんぼらふる里夏祭り

7/27
土

夏の風物詩「とんぼらふる里夏祭り」が、頼原連坦地内で開催されました。
会場には地元団体による夜店が並び、おいしい料理で来場者をお出迎え。桜ヶ台保育所による太鼓演奏、頼原中学校吹奏楽部の演奏、飯南牡丹組のよさこいなどがステージを飾り、地域住民の憩いの空間となっていました。
また、毎年恒例の盆踊りでは、多くの人が赤や青のはつぴを着て大きな円を作り、円の中心で響く太鼓の音に合わせて踊り、会場を盛り上げていました。



夜空に咲く満開の花火



盆踊りの大きな輪



「Y・M・C・A」(頼原中学校吹奏楽部)

自ら遊び、自ら学ぶ ムラサキキッズ キャンプ

7/22
月

7/23
火

梅雨明け間近のこの日、旧小田小学校で来島小学校の児童を対象に「ムラサキキッズキャンプ」が開催されました。
子どもたちは、自分たちで作ったおいしいご飯を食べ、ゲームや花火で盛り上がった後、テントで眠りにつきました。あいにくの雨で県民の森での自然体験はできませんでしたが、子どもたちはご飯の準備やテントの設営など、集団で活動すること



まずは豚肉から炒めてみようか(焼きそばづくり)

の面白さを感じていたようでした。
この活動は、子どもたちに豊かな自然と親しみながら集団活動できる機会を提供したいと、来島公民館が毎年開催しています。



22人がホールインワン

狙え！ホールインワン ゴルフ大会

7/16
火

赤来地区の赤名・来島・谷3つの公民館が合同で開催するグラウンドゴルフ大会が、赤名山村広場で開催されました。
大会には、各公民館で行われた大会を勝ち上がった24チーム144人が出場。異なる公民館に所属する2チームが一緒にホールを回る形式で行われ、お互いに親睦を深めながらの楽しい大会となりました。
団体の部では、上市上Bチーム、個人の部では、嶋岡良宏さん(上市上B)が優勝しました。

大物賞・大漁賞は誰の手に!? やまめのつかみ取り大会

7/28
日

谷地区を流れる塩谷川を会場に、「やまめのつかみ取り大会」が開催されました。
天候にも恵まれ、参加者は109人。ピシヨピシヨになりながらやまめを追いかける参加者でにぎわいました。その後、会場を谷笑楽校に移し、捕まえたやまめを塩焼きにして、おいしくいただきました。



大物の予感!?

一人で13匹捕まえた明見菜々子さん(飯南町)が「大漁賞」、26センチのやまめを捕まえた松江市在住の女の子が「大物賞」を手にしました。

J Aカップ第36回県学童軟式野球雲南地区大会 来島ポニーズ・ポーツ少年団が優勝

7/21
日

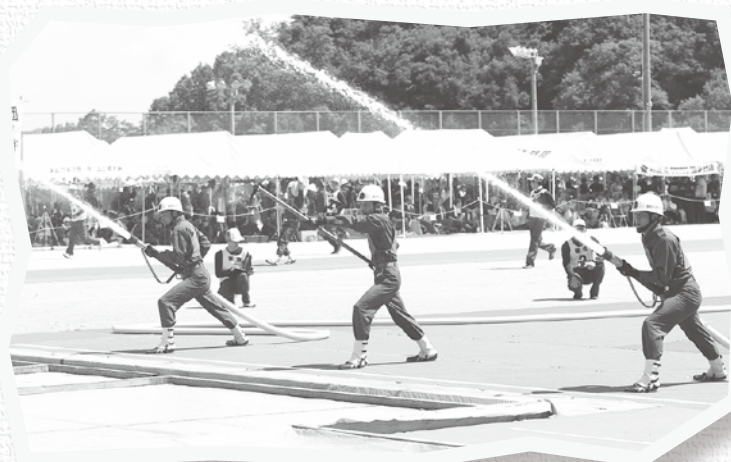
雲南市加茂町の加茂中央公園野球場で開催された「J Aカップ第36回学童野球雲南地区大会」で、来島ポニーズが「優勝」しました。
本大会での優勝は、町内のチームで初めての快挙。決勝は木次スポーツ少年団と対戦し、持ち前の打撃力で勝利しました(9対2)。
主将の鹿田圭吾さんは、「県大会は、自分たちの打撃力で一回戦突破するぞ」と話していました。
県大会は、8月17日から18日にかけて松江市営球場で開催されました。



試合後にみんなで記念撮影

飯南町消防団 第1分団が島根県消防操法大会に出場

7/28
日



日頃磨いた消防操法技術を競う「第63回島根県消防操法大会」が浜田市で開催されました。
本町からは、第1分団(上赤名、赤名がポンプ車の部に出場。結果は第9位でしたが、半年にわたる訓練を通じて、団員同士の団結力、消防技術の向上が図られました。
消防操法は、安全で迅速な消火活動を行うために必要不可欠な訓練の一つです。



歯を表彰 60歳24本・70歳22本

●対象者

町内在住で次の条件のどちらかを満たす人

・今年度満60歳を迎える、自分の歯が24本以上ある人（昭和34年4月1日、昭和35年3月31日生まれ）

・今年度満70歳を迎える、自分の歯が22本以上ある人（昭和24年4月1日、昭和25年3月31日生まれ）

●応募期間・口腔内診査期間

9月10日（火）まで

●応募方法

・町の健診等で歯科健診を受けた人

宝くじは、広く社会に役立てられています

備品を整備

〈小田真木自治振興協議会・獅子自治会〉

地域活動の活性化のため、宝くじ社会貢献広報事業の助成を受け、小田真木自治振興協議会と獅子自治会が、それぞれエアコンをはじめとした備品を整備しました。

この事業は、（一財）自治総合センターが、地域のコミュニティ活動の充実と強化、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上のため、宝くじの受託事業収入を活用して行う事業です。



↓直接、保健福祉課へ申し込む
・町の健診等で歯科健診を受けなかった人
↓町内歯科医療機関へ歯科健診を申し込む（電話予約が必要・費用は無料）

●町内歯科医療機関

ふくま歯科医院

電話72・1500

飯南病院

電話72・0616

●表彰

応募者全員に、表彰式（11月下旬頃）で賞状と記念品を贈呈します。

■問合せ

保健福祉課

電話72・1770

三島祥生さんから

町へ寄付金を いただきました

広島市在住の三島祥生さんから、飯南町へ貢献したいと、寄附金をいただきました。

三島さんは「亡くなった親族が飯南町で大変お世話になりました。飯南町のまちづくりに活用してください」と話されました。

来島拠点複合施設建設工事

安全祈願祭 及び起工式

7/23 火

来島拠点複合施設建設現場で安全祈願祭と起工式が行われました。今後は基礎工事、鉄骨工事、設備工事などを行います。完成は全国的な工事材料の不足により、当初予定（令和2年3月）から約半年程度遅れる見込みです。



公民館、図書館、学習支援館などが入所予定

ALT（外国語指導助手） ダニエルさん& ルースさん退任

ALTとして活動していたダニエル・ウィルケンソンさんとルース・クラバーカーさんが、任期満了で退任されました。

ダニエルさんは、5年間赤来中学校を中心に活動し、この夏からは東京を拠点に活動。ルースさんは、3年間頓原中学校を中心に活動し、大学院への進学を目指し帰国されます。

お二人は飯南町・日本・母国の友好関係推進の架け橋としての活躍を期待され、総務大臣より「JET 絆大使」にも任命されました。

新天地での活躍をお祈りしています。



ダニエルさん(左)とルースさん(右)

ポイント還元開始

10月1日から「キャッシュレス決済・消費者還元事業」が始まります。

町では、キャッシュレス決済の利用促進を図るため、消費者向けキャッシュレス決済研修会を開催します。

また、消費者が利用できる店舗を増やすため、「飯南町キャッシュレス決済等普及啓発事業補助金」を創設しました。

キャッシュレス決済・消費者還元事業

消費税率引上げ後の9カ月間に限り、消費者が中小・小規模事業者の対象店舗でキャッシュレス支払いをした場合に、ポイントが還元される国の制度です。

消費者への還元率

・個別店舗5%

・フランチ・チェーン加盟店等2%

※1 本事業に加盟している店舗に限る（中小企業を対象）

※2 郵便切手類、四輪自動車、新築住宅の販売などは対象外

まちを元気に！ 地域おこし協力隊

飯南町内のさまざまな地域課題に取り組み「地域おこし協力隊」の活動を紹介します。

今月は、飯南町学習支援館の上野慶子隊員の活動報告です。



学習中にも笑みが

平成30年4月から飯南町学習支援館で勤務している上野です。

協力隊として今年で2年目になりました。目標とする進路の実現に向かって日々頑張っている中学生・高校生の学習サポートや支援館の運営業務に携わっています。

支援館では、進学の決まった中学校3年生が、塾に通う飯南高校の先輩から高校生活について話を聞く座

消費者向け キャッシュレス決済研修会

●対象

キャッシュレス決済に関心のある人

●日時

9月18日（水）18時～

●場所

島根県中山間地域研究センター大会議室

※詳細は町ホームページをご覧ください。

■問合せ

産業振興課 電話76・2214

飯南町キャッシュレス決済等 普及啓発事業補助金

●対象

町内に店舗・事業の拠点がある事業者

●内容

キャッシュレス決済の導入にかかる決済手数料や軽減税率レジ導入経費の一部を補助（店舗向け補助事業）
※国の「キャッシュレス決済・消費者還元事業」への加盟が必須条件

■申請問合せ

飯南町商工会

電話76・2118



理科実験でスライムづくり

健康コフレ

保健 医療 介護 福祉

●飯南病院 電話72-0221 ●来島診療所 電話76-2309 ●保健福祉センター 電話72-1770

「急変したとき、人工呼吸器を使いますか？心臓マッサージしますか？」□から食べられなくなったとき、胃ろうをしますか？」
あなたが病気で入院し自分で意思決定できない場合、病院では患者本人にとってより良い選択ができるように、このような質問を、家族や身近な人に投げかけることがあります。治療の選択によっては、家族や身近な人が困ることも。
医療の進歩で、人生を長く過ごせるようになった一方で、治療期間自体も長くなり、患者本人が望まない治療が選択されることも多くなっています。

「もしも」のときにあなたの身近な人が戸惑わないためにどのように備えれば良いでしょうか。元氣なうちにできることとして2点挙げられます。
・もしものときに自分の代わり意思決定をしてもらう人であらかじめ決めておく
・その人と自分の価値感について話し合う
代わりに意思決定をしてもらう人は身近な家族の人の方が良いですが、家族がいない人は親戚の人や友人でも構いません。その人に自分が病気になる後の意思決定をお願いすること、また治療方針を選択してもらう際に参考になるように、自分が大切にしていることや自分がして欲しいこと、して欲しくないことを伝えておくことが重要です。もちろん事前指示書といった形にまとめたいたただくことも良いですが、自分人で書かずに家族や主治医の先生と十分に話し合うと良いでしょう。

飯南病院 便り

“もしも”への備え



飯南病院 診療部長 石橋和樹

こんにちは
中山間地域研究
センターです。

ツキノワグマとの遭遇に注意！

●中山間地域研究センター
電話 0854-76-2025
<http://www.pref.shimane.lg.jp/chusankan/>



飯南町は、ブナ・ミズナラなどが残る豊かな森がある地域で、多くのツキノワグマが生息しています。皆さんはツキノワグマについてどのような印象をお持ちでしょうか。

実は、クマは臆病で警戒心の強い動物です。基本的に人を恐れているため、人を襲うことはめったにありません。しかし、県内でもクマによる人身事故が2～3年に1回程度発生しています。この原因を調べてみると、近年の里山の荒廃や耕作放棄地の増加など

の影響で、人とクマが至近距離で遭遇した際の人身事故が多いことが分かってきました。飯南町でもキノコ狩りや見通しの悪い道路でクマと遭遇してケガをされた方がいらっしゃいます。このような人身事故を防ぐにはどうすれば良いでしょうか。

まずは、クマと出会わないための対策が必要です。高い音の出る鈴や笛などを携帯して、人の接近をクマに知らせることが有効です(溪流などでは水音が聞こえにくくなるため注意が必要)。また、

クマの活動が活発になる早朝や夕方は、山や果樹園などに入るのを避けましょう。万が一クマと遭遇した際には、大きな声を出さない、走って逃げない、子グマがいても近づかないなどが大切です。可能であれば、日頃から地域で道路周辺や耕作放棄地などの草を刈り、見通しをよくすることも有効です。

クマに出会わないように環境を整備することが、クマとの共存や豊かな森を守ることにもつながります。



こんなグッズもあります！(クマ除け用の鈴、笛、クマ撃退スプレー)

赤名地区集落支援員の金藤です。

今月は、赤名地域まちづくり連絡会事業「寄ろうでえ～！赤名川」の7月開催イベント「スポーツ吹き矢体験会」の模様をお届けします。

スポーツ吹き矢は、5～10メートル離れた的をめがけて矢を放ち、その得点を競うスポーツ。日本古来の吹き矢と腹式呼吸を用いる健康法が融合しているスポーツとして注目を浴びています。最大の特徴は呼吸法。これにより「動脈硬化・ストレス解消・冷え性・肩こり・高血圧・脳の老化・糖尿病」などの予防や改善が期待できます。



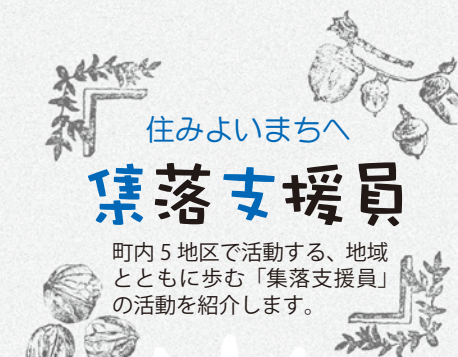
所作と呼吸法が肝心です



加藤さんのユーモアあふれる話でスタート

今回指導いただいたのは、雲南市スポーツ推進委員の加藤勇さんと土江清夫さん。スポーツ吹き矢の所作から呼吸法まで、面白おかしく、丁寧に、そして厳しくご指導いただきました。参加された住民の皆さんの表情も真剣そのものでした。

楽しみながら健康にもなれるスポーツ吹き矢。今後はさらに多くの人に体験してもらえるよう競技大会の開催も予定しています。住民の皆さんの健康、交流、そして安心して暮らし続けられる町づくりのお手伝いができればと思います。



町内5地区で活動する、地域とともに歩む「集落支援員」の活動を紹介します。

次回の「寄ろうでえ～！赤名川」にも乞うご期待。お待ちしております！



準備完了！いざっ！

保健福祉センター 便り

マダニに注意しましょう

農作業やレジャーなどで、山や草むらで活動することが多くなるこの時期。注意したいのが「マダニ」です。マダニの活動は春から秋にかけて盛んになります。

マダニに咬まれると感染する病気の1つに「重症熱性血小板減少症候群」があります。重症化すると死に至ることもあり、今年度県内で多くの被害が報告されています。感染しないためにも、マダニに咬まれないための予防が重要です。

マダニに咬まれないために

- 長袖や長ズボン、手袋、足を完全に覆える靴などの着用を心がけ、肌の露出を控える
- マダニを見て確認しやすくするために、明るい色の服がおすすめ(マダニは色が黒い)
- 虫除けスプレーを使う
- 地面に直接寝転んだり、座ったりせず、敷物を敷く
- 農作業をした後や野山に行った後は、すぐに身体を洗い、着替える

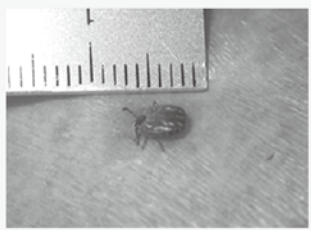
マダニに咬まれたら

無理に取ろうとせず、医療機関などで処置を受けるようにしてください。

農作業をした後や野山に行った後、2日から15日以内に発熱・発疹があった場合は、医療機関を受診してください。医療機関では、必ず野山などに行ったことを医師に伝えましょう。

犬や猫にも

マダニは犬や猫などにも付着します。動物病院で処方されているペット用のノミ・マダニ駆除薬などで駆除できます。マダニが付いていたときは、無理に取ろうとせず、かかりつけの獣医師に相談してください。



吸血中のマダニ
(出典：島根県保健環境科学研究所)

求人情報

直近1カ月に受け付けた求人を紹介します。詳しい内容を知りたい方、このほかの求人情報をご覧になりたい方は、お問い合わせください。求人情報の閲覧のみも可能です。

飯南町無料職業紹介所 電話76-2864
(役場地域振興課内)

(株)いいなん 72-1800	
バイオマス製造機の製造・農作物栽培作業	フル 1人 パート 1人

エムズ環境 72-1212	
管工事、住宅工事、スプリンクラー工事	フル 2人

(株)Aコープ西日本 72-1221	
エルシー店商品づくり、補充、レジ等	フル 3人

飯南町教育委員会 76-3944	
スクールサポーター(児童のサポート)	フルまたはパート 1人

(株)藤原建設 72-0154	
土木作業員・重機オペレーター	フル 1人
土木施工管理者	フル 1人

(株)ニチフレ島根 73-0131	
製造工	パート 1人

(有)一福 72-0006	
出雲そば、加工食品等のルート配達	フル 1人

飯南町立飯南病院 72-0221	
看護師	フル 1人

(株)穀物創庫 72-1995	
菓子、惣菜及び配達	フル 1人

(株)後藤建設 72-0103		
建築施工管理技術者	フル	1人
土木施工管理技術者	フル	1人
重機オペレーター	フル	1人

田村工業(有) 76-3511	
土木作業員及び重機オペレーター	フル 2人

(株)カワヨコーポレーションいいなん牧場 0795-42-4333	
乳牛の飼養	フル 1人

(株)ジュンテンドー飯南店 76-9137	
販売	パート 1人

松田建設(株) 76-2361	
土木技術職員	フル 1人

(株)飯南トータルサポート 76-9070		
琴引ビレッジ山荘 調理人	フル	1人
琴引フォレストパーク 営業企画	フル	1人
憩いの郷衣掛 フロント・レストラン	フル	1人

日本郵便(株)松江中央郵便局 0852-28-8205	
頼原郵便局 郵便業務	フル 1人

島根県教育庁学校企画課 0852-22-6308	
飯南高等学校非常勤講師(国語)	フル 1人

(福)飯南町社会福祉協議会 76-2170		
保育士(正職員)	フル	1人
保育士(臨時職員)	フル	1人
介護職員	フル	2人

※表示のない市外局番は「0854」です。

改定版を発刊
植物ガイドブック

「飯南町の植物ガイドブック」の改訂版が発刊されました。
このガイドブックは平成24年度に、飯南町森の案内人会の編集により初版が発刊されました。好評につき在庫切れだったことや、初版の発刊から植物研究の進歩で科名の変更などに伴い、今回改訂されました。
新しい分類体系をとり入れ、写真も大幅に増えたガイドブックをぜひご覧ください。

■購入・問合せ
飯南町教育委員会内
森の案内人会事務局
電話76・3944



令和元年度
産地交付金の助成内容

産地交付金は、町地域農業再生協議会が策定した「水田フル活用ビジョン」に基づき、水田で一定面積以上の対象作物を生産・販売した場合に、面積に応じて交付金が交付される制度です。

地域が戦略作物として設定する作物の振興を支援する目的で交付され、町がその活用方法を決定しています。
本年産の対象作物に対する助成単価・下限面積・要件は、次の表のとおりです。
■問合せ
産業振興課 電話76・2214

	対象作物	助成単価	下限面積	対象とする要件
集団化助成	大豆	25,000円/10a	1ha	生産、販売。基幹の2作業以上を受託し、販売権を有する作業受委託契約に基づく作付面積を含む
	そば	15,000円/10a		
	麦	10,000円/10a		
	WCS用稲	5,000円/10a		生産、販売 国の指定する多収品種の生産、販売
	加工用米、米粉用米	10,000円/10a		
	飼料用米	15,000円/10a		
地域振興作物助成	やまといも	30,000円/10a	1a	生産、やまといも生産組合への出荷
	とうがらし	15,000円/10a	1a	生産、販売
	トマト、メロン、パプリカ	10,000円/10a	1a	作物合計1a以上の生産、販売
	加工用青刈り稲	35,000円/10a	10a	しめ縄用の原料として生産、販売(自家利用含む)
	そば、なたね	20,000円/10a (二毛作:15,000円/10a)	1a	生産、販売
	飼料用米、米粉用米	12,000円/10a	1a	国の指定する多収品種の生産、販売
	飼料作物、WCS用稲(耕畜連携助成)	13,000円/10a	1a	水田放牧、資源循環に取り組んだ場合

※水田における対象作物の作付けが交付金の対象(畑での作付けは対象外)

※算出した交付金総額が国からの配分額を超えた場合は、助成単価を調整

放送大学
10月生募集

放送大学では、令和元年10月入学の学生を募集しています。
放送大学は、テレビ等の放送やインターネットを通して心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学など、幅広い分野を学ぶ通信制の大学です。働きながら学んで大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、さまざまな目的で幅広い世代、職業の方が学んでいます。
全国に学習センターが設置され、サークル活動などの学生交流も行われています。

●出願期間
第1回/8月31日(土)まで
第2回/9月20日(金)まで
※資料請求は、放送大学島根学習センターへ直接請求または放送大学ホームページから(無料)

●入学説明会・相談会
日時/9月1日(日)13時～
会場/出雲中央図書館

■問合せ
放送大学島根学習センター
電話0852・28・5500

「福祉・保育の仕事就職・転職フェアしまね」開催

●対象
県内の福祉職場に就職を希望する人

●日時
9月6日(金)17時30分～20時
9月7日(土)13時～15時

●会場
いきいきプラザ島根 体育館
(松江市東津田町1741-3)

●内容
・事業所による個別就職面談コーナー
・福祉人材センターによる就職に関する相談、求職登録
・福祉の仕事ガイダンス
・ハローワーク、ナースセンター、ミドルシニア仕事センター、レディース仕事センター、シルバー人材センターによる就職相談(2日目のみ)
※無料託児あり(要申込)
※参加無料、申込不要、入退場自由服装自由

■問合せ
島根県社会福祉協議会
(島根県福祉人材センター)
電話0852・32・5957

夏休み緊急企画
森林セラピー子ども相談室

トシちゃんの質問
(町内在住5歳の男の子)
森林セラピーで、「森の力」をいっぱい
もらうにはどうすればいいですか？



目を閉じて、耳を澄ませてみると...

セラピーガイド
板木ひろみの回答

人間には「見る」「聴く」「嗅ぐ」「触る」「味わう」という5つの感覚が備わっていて、これを「五感」と言います。「五感」を意識して使うことで、人間の心と体に癒しを与える「森の力」をいっぱい受け取れます。

例えば、目を閉じてみると、耳への意識が高まって集中して音を聴けます。こうすると、普段聴こえてこなかった音も聴こえてきます。他にもいろいろな方法があるけれど、これが「五感」を意識して使うということなんです。

「五感」は、大昔私たちの祖先が自然の中で生き抜くために、すごく重要な役割をもっていました。でも科学の進歩で人間の住む環境が人工的で便利になったこともあって、「五感」を意識して使うことが少なくなりました。

森の中で「五感」を意識して使うためのアドバイス(声かけ)をするのが、セラピーガイドなんです。

トシちゃんも、ガイドさんと一緒に森の中を歩くと「森の力」をいっぱいもらえますよ。

短歌

頼原公民館短歌教室 七月詠草

夕餉終え痛む体を横たえて生きてる証しとかみしむ	安部 徳則
夕餉どき小さきホタルの舞いこみて猫も目で追う灯かり消す中	石川 隆
待つ雨をひと降り浴びて色を増し我が家のアジサイ笑顔を見せる	岡田 繁富
父の日に夫を見舞えば老いたちの懸命にうたう「北国の春」	景山サチ子
お土産の西利のつけものお茶口に今日一人居のティータイムなり	景山 牧栄
梅の実を漬けつつ浮かぶお茶受けに煮梅好みし父のおもさし	片岡 千鳥
初めての歌の教室加われば言葉の世界広がって新た	塩田美代子
植えかえし芍薬のつぼみふくらみて幾年ぶりの大輪かぐわし	千葉トミエ
足拭きとなりたる私のTシャツを踏めし一瞬痛し胸処の	藤原 正
色濃ゆき鎮守の杜の杉木立さし込む朝日の神々しさよ	本間 啓美
含羞みて「おはちゃんどうぞ」とシャープペン伊丹児童と楽し一時	三上 朋子
神事終え田植囃子に合わせ植える乙女の姿持つ手可愛い	山本 正敏

すこやかに

7月届出分

新生児 山内 幸佑(こまゆ)ちゃん 孝之(けい)之(のり) 地区 届出人 地区

やすらかに

7月届出分

お名前 藤原 益美(みづみ)様 昌一(あきら) 親族 地区 高尾 スミエ(すみえ)様 均(なほみ) (上区) 塚本 國藏(くにぞう)様 良二(りょうじ) (上赤色) 丸山 ツマ(つま)様 一夫(かず) (志津見) 後長 豊憲(とよのり)様 敬子(けいこ) (角井) 渡邊 ミツエ(みつえ)様 春海(はるみ) (小田)

今日の人権標語

「家族でつくる人権標語」優秀作品から

それ何t(トン)?
言葉の重みは
はかれない。

赤来中1年 やしま つよし 八嶋 剛さん
家族名 八嶋 奈美恵さん

標語に込められた思いを町民みんな
で意識し、差別や偏見のない明るい
まちづくりをめざしましょう。

今日の表紙

特集にも登場してもらった飯南
高校二年生のふたり。「高校の敷地
で好きな場所は？」と聞くと、「月
根尾寮」「体育館」との答えが。4
ページの写真はふたりの好きな場
所で撮影しました。



飯南町国道54号活性化
アクションプラン推進協議会



夏の一大イベントに成長!

設立から10年を迎えた、国道
54号活性化アクションプラン推進
協議会。しかし、どんな目的で、ど
んな活動をしているのか知らない
人も多いのでは?本協議会の
取り組みを連載で紹介しします。

■問合せ
国道54号活性化アクションプラン推進協議会
(い〜にやん人つなぎ協議会)
電話76-2864(地域振興課)

ずぶ濡れは勇者の証!「第8回い〜なん水鉄砲選手権大会」

今年で8回目を迎える「い〜なん水鉄砲選手権大会」は、9月1日(日)に
開催されます。本協議会はこの大会を応援しています。

今年の舞台は、琴引ビレッジ山荘キャンプ場。ここに競技用コートが設
置され、熱戦が繰り広げられます。競技後には、参加者全員がずぶ濡れ
に。熱い夏の水遊びを大いに満喫できます。回を重ねるにつれて大人も
子どももみんなで楽しめる夏の一大イベントになってきました。

エントリーが増加中!

昨年の大会は台風の影響で
中止となりましたが、エントリー
チーム数は18チームと過去最
多でした。毎年エントリーされ
る常連チームや企業、自治体、
こども会の活動での参加など
年々増えてきています。中には
遠方から参加されるチームも。笑いあり涙あり、楽しい仮装ありと、参加
者にとってかけがえのない夏の思い出になっているようです。



勇者になるぞ!

熱戦のもようは自由に観覧できます。少雨決行ですが、荒天時には中
止となります。詳細は公式ホームページ等をご確認ください。
<https://iinan-watergunman.com/>

まちのスケジュール

■教育 ■健康・保健 ★文化・体育 ◆その他

2019.9

日	月	火	水	木	金	土
1 ◆ いーなん水鉄砲選手権大会 (琴引ビレッジ山荘キャンプ場)	2	3	4 + ほっと。Café (来島保健センター) 10:00～11:30	5	6	7 ■ 各中学校体育祭
8	9	10	11 + ほっと。Café (来島保健センター) (ペヒーマッサージ) 10:00～11:30 + 難病サロン「ほのり。」 (保健福祉センター) 14:00～15:30 ※完全予約制 ■ 頼原・赤来中学校2年生 町ぐるみ職場体験 (～13日)	12	13	14 ■ 来島小学校運動会 ◆ 稲刈り体験&交流イベント(志津見)
15	16 敬老の日	17	18 + ほっと。Café (来島保健センター) (食講座【大人】) 10:00～13:00	19	20	21 ■ なかよし運動会 (頼原小学校) ◆ 道の駅グルメライド in中国山地
22 ■ 赤名小学校運動会	23 ◆ 敬老会(赤名農村 環境改善センター) 10:00～11:30	24	25 + ほっと。Café (来島保健センター) 10:00～11:30 ◆ i座談会 (来島基幹集落センター) 19:00～	26	27 ◆ はびこ無料結婚相談会 (飯南町役場) 18:00～予約制 ◆ スキルアップ講座 「映画『人生フルーツ』から 学ぶ!幸せな人生のヒケツ」 (交流センターとんぼら) 19:00～21:00	28 ◆ 森林セラピー基地 中国四国研修会 (～29日)
29 ★ 志々地区合同 体育大会 (志々小学校)	30 ★ 琴引山ちりけ封じ 登山、神迎え神事	8/1	8/2	8/3	8/4	8/5
◆ 東京オリ・パラ 全国植樹祭 PRイベント						

し尿汲取り日

汲取り地区	汲取り日
頼原 志々	7日(土) 10日(火)
赤名	20日(金) 24日(火)
来島	12日(木) 17日(火)

資源物

収集地域	収集日
頼原	18日(水)
赤来	25日(水)

金属類・粗大物 ガラス類

収集地区	収集日	収集日
頼原 連担地	24日(火)	9日(月)
八神 連担地	26日(木)	11日(水)
頼原・八神連担地以外	25日(水)	10日(火)
赤名 連担地	17日(火)	2日(月)
来島 連担地	19日(木)	4日(水)
赤名・来島連担地以外	18日(水)	3日(火)

[頼原地域] 電話72-1401 [赤来地域] 電話76-2441

[いいしクリーンセンター] 電話72-9217 ※決められた日時をお守りください。

町の人口 ●4,829人(前月比-5人) ●男性2,259人 ●女性2,570人 ●世帯数2,047戸 R1.8.1 現在



スマホで広報紙を
読みませんか?